

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2020年 12月 1日 発行

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井宣光

(今年度よりデジタル配信です)

人の知恵は顔に光を添え、固い顔も和（やわ）らげる（コヘレトの言葉 8:1）

どら焼きの「あん」

「ハンセン病を知ったのはつい最近でしたが、詳しい内容や病気に対する社会の反応を知ったのはこの映画を通してです。自分がかかるとも知れない怖さを感じる人々と、陽の光の下で生きたいと願うハンセン病元患者の思いが描かれていて、心が苦しくなりました。真実をしっかりと学べたと思います。」（高校生）

「映画を見て、今のコロナの状況と似ていると思いました。映画ではハンセン病にかかったことが悪いように言われていましたが、コロナウイルスも同じようにならないかと思っています。」（高校生）

「私が映画と同じようにハンセン病の人と友達だったとしたら、もし、周りの人に『ハンセン病の人と仲がいいんやな』などと言われたとしても、自信をもって『だから何』と言い返せるようになりたいと思います。」（中学生）

先月の宗教週間の人権学習では、ハンセン病療養所の元院長の医師の方を講師に招き、かつて「らい病」と呼ばれていたこの病気の歴史と現在について学びました。その後、樹木希林さんと市原悦子さんが療養所に暮らす元患者を演じる映画「あん」を鑑賞しました。どら焼き屋の雇われ店長と常連客の女子中学生、粒あん作りを手伝う元患者の三者三様の人生が、店を舞台に少しずつ重なり合っていきます。生徒たちの感想文を読むと、受け止め方は様々でしたが、知らなかった事実を知ることにより、知識の幅を広げるとともに、新たな感情体験を経ているように感じました。

新型コロナ感染症では、感染者やその家族の人権が侵害されたり、風評被害が起こったりしている事例が報告されています。感染症についての正しい知識を持ち、病気の予防を心がけるとともに、感染者の治癒を祈り、その不安に寄り添うことができるようにしたいと思います。

熊本と群馬に足跡を残す、ハンナ・リデル女史とコンウォール・リー牧師

二人の英国人女性が、国内のハンセン病との関わりで熊本県と群馬県に足跡を残しています。ハンナ・リデル女史とコンウォール・リー牧師は2歳違いのキリスト者で、明治時代に来日し、当時、強制収容を強いられ、社会からも家族からも見捨てられた状態で一生隔離生活を余儀なくされたハンセン氏病患者を救う活動に生涯をかけました。最初に来日したのはハンナ・リデル女史で、1890年、聖公会（英国国教会）の牧師として布教活動のために英国を発ちました。来日後、熊本で寺院に収容されていたハンセン病患者の姿を見てその救済を志して活動を始めました。松蔭女子学院の創設は1892年ですから、ちょうどその頃のことです。その後一時帰国しましたが、患者救済にあたって布教活動の限界を知った彼女は、牧師の職を捨てて再来日しました。熊本や沖縄にハンセン病専門病院や治療のための研究所などの建設を目指して政財界を奔走し、その功績は当時の日本政府にも認められていました。



ハンナ・リデル女史

コンウォール・リー牧師は、ハンナ・リデルに遅れること15年、母親が他界したことがきっかけとなって、聖公会のSPG(*)から日本へ伝道のために派遣されました。スクールモットー「オープンハート」の言葉を初めて口にした松蔭の第8代校長エセル・ヒュース牧師は、リー牧師と共にSPG(*)に所属していました。1906年、31歳のエセルが来日した翌年、リー牧師が横浜に降り立ちました。遠く異国の地にある二人は、たがいの無事と布教の成功を共に祈ったことでしょう。

日本でワリー牧師は、東京や神奈川で布教活動を行っていましたが、数年後、群馬県の草津に移り住み、草津聖バルナバ教会を設立しました。彼女が58歳の頃です。草津は有馬、下呂に並ぶ千年の歴史を持つ温泉地で、古くから湯治の人たちが訪れていましたが、温泉の医学的効果についての評判もあり、ハンセン病患者たちも療治のため草津温泉へと移る者が増えていました。当時の温泉街の宿では、逗留する湯治客と患者が寝食をともにしたこともあったようですが、そのような例は世界的に見ても珍しかったと言われています。彼女は教会の周りに、私財を投じて男女別「ホーム」を建設して信徒である患者を住まわせ、病院や学校、子どもたちの養育施設を作りしました。こうしてハンセン病患者たちの集落が次第に形成されました。1930年代に入ると政府は隔離政策を本格化させ、患者を収容するための療養所「栗生楽泉園（くりうらくせんえん）」を建設し、患者らを収容する政策をすすめました。温泉街の集落は次第に姿を消していきました。

70歳代となり体調を崩した彼女は、SPG(*)の紹介で兵庫県の明石の伝道所に移り住みました。明石では、彼女の手持ち資金により牧師館などの施設が次々に建てられました。その後、これらの施設は、明石聖マリア・マグダレン教会と命名され、今日に至っています。1941年11月、当時の松蔭の校庭にあった礼拝堂がこの教会に移築されましたが、ワリー牧師が息を引き取ったのは、その直後のことでした。葬儀はその礼拝堂で執り行われたと記録にあります。ワリー牧師の事績を探し求めるなかで、彼女とともに写る、制服姿の松蔭生の写真を見つけました。時代を越えて現代の松蔭生が、ハンセン病について学ぶ姿を天国から眺めては、喜んでおられるように思います。

(*) SPG は聖公会のなかにつくられた、海外宣教のための団体。

松蔭女子学院はこの団体の関係者によって創設されました。



コンウォール・ワリー牧師胸像
(群馬県草津温泉の頌徳公園)



明石時代のワリー牧師（後列より2段目左端）

最前列に冬制服の2人の松蔭生

学校評価アンケートのWEB化について

政府にデジタル庁が設置され、行政機関の「ハンコ無し」も推進されているようです。文部科学省からも、学校の連絡手段のデジタル化を検討するよう通知が届いています。教育活動や学校のデジタル化については、昨年度以来、学校運営方針の一つとして「ICTリテラシーと情報モラルを高める実践がある学校」を掲げ、生徒のタブレット個人保有を順次すすめていることはご承知のことと思います。この「校長室だより」も、4月から紙配布を廃止してデジタル配信のみとしています。中学入試では、2021年度入試からWEB出願に移行します。本校名物の合格者の掲示発表の光景が見られなくなることは少し寂しい気分ですが、時代の流れというところでしょうか。

毎年3学期には、生徒、保護者の皆さんに学校評価アンケートの回答をお願いしています。今年度実施分より、マークシート用紙利用を取りやめ、WEBアンケートにより実施できるよう準備中です。アンケート内容についても、「授業評価アンケート」（生徒対象）と、「学校満足度アンケート」（保護者対象）に分け、教育活動の点検と改善に向けてより有効なアンケートといた考えています。生徒の皆さんに現在、毎朝の検温と健康観察のClassi入力をお願いしていますが、このClassiを利用してWEBアンケートを配信する予定です。保護者に皆様にもClassiの保護者アカウントへの配信となりますので、未登録の方は登録をお願いいたします。詳細は、後日、連絡いたします。今後、各方面でさらに学校のデジタル化の取り組みをすすめる予定です。先日、生徒から「iPadにデジタル教科書が入るのは、いつですか?」と質問されました。重くてかさ張る紙の教科書は、いつになったら無くなるのか、という意味合いだったようです。本校では現在、教員用（授業担当者用）デジタル教科書を順次配備し、授業での活用をすすめているところです。学習者用（生徒用）デジタル教科書については、文科省が2024年に全国の小学校に導入することを発表していますが、中高については未定です。本校でも今後準備をすすめたいと考えています。

130周年 ロゴマーク募集

2022年、松蔭女子学院は創立130周年を迎えます。生徒の皆さんにはClassiでお知らせしましたが、記念事業の一環としてロゴマークを学院の学生・生徒から募集することになりました。2012年の創立120周年でも記念ロゴマークを公募し、当時、松蔭高校3年生の作品が採用されました。(右のマーク)

決定したロゴマークは、約2年にわたりHPや印刷物など様々なところで使用される予定です。ふるって応募していただきたいと思います。ホームページには、「130周年記念・関連事業」のバナーを設けています。関連事業につきましては、随時、更新する予定です。



2012年の「創立120周年ロゴマーク」

12月～3学期初めの行事予定

校内の主な行事の予定です。生徒が参加する行事の詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。12月18日以降の登校時刻等については別に連絡します。

- 12月1日(火) 高2代替「修学旅行」説明会
- 12月2日(水) 英検対策講座
- 12月3日(木) アゼンブリー(高校生集会)
- 12月5日(土) PTA運営委員会
- 12月6日(日) 第3回高校入試説明会
- 12月11日(金) お誕生礼拝(12月に誕生日を迎える生徒・教職員対象)
- 12月12日(土) 高校授業②校時まで 第4回高校入試説明会
- 12月14日～17日 2学期期末考査
- 12月17日(木) 高2進路ガイダンス 中3代替「修学旅行」説明会
- 12月18日(金) 球技大会
- 12月19日(土) 自宅学習日 中2希望者実力テスト 小学生対象「クリスマスの集い」
- 12月20日(日) 個別入試相談会(中学入試、高校入試)
- 12月21日(月) 大掃除・答案返却
- 12月22日～23 自宅学習日 *22日は中IDS/中3希望者実力テスト
- 12月24日(木) クリスマス礼拝(午前、中高で分けて実施)
- 12月25日(金) 終業式、アゼンブリー(中学生集会)、中IGS学期末プレゼンテーション
- 12月26日～1月5日 冬休み
- 1月6日(水) 始業式
- 1月7日(木) 授業開始
- 1月15日(金) 阪神淡路大震災記念礼拝(①校時授業前)
- 1月16日(土)～1月18日(月) 自宅学習日(中学入試期間)